

飯豊梶川尾根～丸森尾根山行記録



目的地	梶川尾根から丸森尾根	期 日	平成 20 年 5 月 31～6 月 1 日：31 日…曇のち雨、1 日…快晴
山人人	笠原正雄ほか多数	特 記	飯豊・天狗平ロッジの小屋開きに参加。翌日は扇ノ地紙まで

地 点 名	(着)～(発)	記 事
31日(土)		
与 板	午前 6:15 発	中条 IC を出てから、明日から値上げされるガソリンを給油。
天狗平ロッジ	8:45 着	めおと&まこと夫妻、ハイジ。弁当朝食。9 時頃より全員で朝礼。作業開始。
素 麵 昼 食		作業終了後、井上氏がコンパスの使用法を実技講習したが、俺は山菜や素麵を茹でていて、参加しなかった。
シンポジウム	13:30	小国町で開催された「森林セラピーシンポジウム」に参加。
宴 会	6 時過ぎ～	天狗平ロッジに戻り、小国山岳会会長ほか、木内さん、弥輔さんと一緒に総勢 20 数名で開始。8 時半頃には伴場さんら 3 人が到着。何時に終宴したか分からぬが、カウンターの内側でシュラフに包まって眠る。
1日(日)		
起 床	4:00	昨日の雨があがって、朝から青空となる。レトルト中華丼で朝食。
天狗平ロッジ	5:40 発	5 分後、橋を渡り右の梶川尾根登山口に取り付く。
檜ノ樹曲り	6:20～6:30	山際さんと最後尾を歩く。
湯 沢 峰	7:20～7:30	この先で雪の下りとなる。シリセード。
滝 見 場	8:10～8:20	雪の台地で休む。虫がうるさい。ピッケルに持ち替え歩き出す。
アイゼン歩行へ	8:35～8:45	先行者が苦労している急登を見上げる。無くとも登れるとは思うが、指示に従ってアイゼンを履く。急登を終われば夏道と交互となる。
五 郎 清 水	9:20	清水は雪の下で分からない。一度アイゼンを外す。
再びアイゼン	9:35	三本カンバを見上げる所に来た。雪の登りとなる。雲の流れが美しい。(写上右)
三 本 カ ン バ	9:55～10:05	ここは雪が消えていたが、この先はまた雪となる。アイゼンを着ける。
梶 川 峰	10:35	雪は無く 10 分ほど先へ進み、ケルンでミネズオウを撮る。(写下中)
扇ノ地紙	11:40～1:10	夏道後の雪の登りを袋に入れた雪でビールを冷やしながら進み雪原に到着。ランチ。石転ビ沢方面を進む者も少数いたが、皆と一緒に丸森尾根下山とする。HZU の滑落停止レッスンが始まったが、ランチの後始末で俺一人だけが参加せず。
地 神 北 峰	2:00～2:10	地紙出発後、雪歩きから僅か藪を漕いで夏道尾根を進む。
丸 森 峰	2:55～2:55	雪の下りでは滑落停止練習やシリセードで下る。
夫 婦 清 水 下	4:20～4:35	15 分前に雪に覆われた夫婦清水を通過し、登路で休む。虫がうるさい。
丸 森 登 山 口	5:35	天狗平ロッジに戻り、ラーメンを煮て食べる。熊の背油を一きれご馳走になる。

例年参加していた、春山合同訓練が主催者の都合で中止になり、天狗平ロッジの小屋開きと、森林セラピーシンポジウムに代わった。小国の皆さんと会いたいと思い参加した。また、加藤一座と tamo さん達もやって来て前夜祭はとても盛り上がった。サプライズとして、セラミック鍋でピザパイを焼き、皆に食べてもらい OK であった。